

トモエソウ

Hypericum ascyron

オトギリソウ科



トモエソウの花。花びらが巻き込むようにゆがんでいる

名前の由来

巴形にゆがんだ花弁の形から名付けられた。

漢字名：巴草

魚類

底生動物

両生類
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種)
草花

(外来種)
草花

哺乳類

(水辺)
鳥類

(草原・樹林)
鳥類
ワシ・タカ

形態的特徴

高さ50~130cmで直立する。茎には低い稜線が4本ある。葉には柄がなく長楕円形で、日に透かして見ると、明るく光が透ける明点とよばれる小さな点がまばらにあるのが分かる。葉は対生し、2枚が茎に向かい合っつく。花は黄色

で径5~6cm、花びら（花弁）は5枚で片側に巻き込むように歪んだ巴形をしている。花の中心部にある多数の赤橙色の雄しべが目立つ。花は一日だけで、日中に開き、夕方にはしぼむ。

生育環境・分布

低地~山地の草原で見られる。

分布：国外分布は、朝鮮・中国・シベリア。国内分布は、北海道から九州。

北海道内分布は、全道。

十勝地方では、低地~山地の草原で見られる。

生活史

開花時期：7~8月。開花までの年数：不明。寿命：多年草。

他生物との関わり

花には虫が訪れる。

興味深い話

■ さく果は卵円形で中に多数の種子がつまっており、熟すと何かの拍子で5片に勢いよく裂け、その裂開力によって中の種子をはじき飛ばし、種子をより遠くへ散布させている。



トモエソウ。円内は実

配慮事項

生育している環境全体が重要である。

生活サイクル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開花期				■								
結実期					■							

参考文献

「改訂版 牧野新日本植物圖鑑」 牧野富太郎 北隆館 1989

「北海道植物図譜」 滝田謙讓 自費出版 2001

「日本の野生植物 草本II」 佐竹義輔・大井次三郎 他 平凡社 1982

「日本山野草・樹木生態図鑑」 沼田眞 全国農村教育協会 1990

「北海道夏~秋の花 絵とき検索表III」 梅沢俊 エコ・ネットワーク 2001